議会報告会報告書

令和7年4月11日

小田原市議会議長 大川 裕様

報告者 議会広報広聴常任委員長 鈴木 和宏

議会報告会(議場見学会)の結果について、次のとおり報告いたします。

Γ	
日時	令和7年1月31日(金曜日)午前9時20分 ~ 午前10時30分
場所	小田原市役所 議場
出席者	寺 島 由美子 中 野 正 幸 神 戸 秀 典 金 崎 達
	楊隆子大川晋作
参加人数	32名(大窪小学校6年生児童30名、担任教諭2名)
内容	小田原市議会基本条例では、市民の意見を議会の審議や政策立案に生かすため、議会報告会や市民アンケートのほか、多様な媒体を活用し、広報広聴の充実を図るものと定められています。 そのような中、これまで要望に応じて対応を行ってきた議場見学会は、議会報告会と同様に議会活動の報告という広報の面と、意見交換による広聴の面があることから、令和3年度からは議会報告会の一つの形として以下のとおり実施しました。 内容 ・市議会議員から児童に対し、市議会や議場に関する説明 ・議長室や傍聴席といった、議場以外の施設の見学 ・議員に対する質疑応答
主な質疑・意見等	裏面参照
その他	

<主な質疑等について>

【質疑】議員になろうと思ったのはなぜですか

【回答】約30年間サラリーマンとして勤めていましたが、小田原生まれ小田原育ちでもあり、市のためになればいいと立候補を決意しました

【質疑】議会ではどのようなことを話し合うのですか。具体的な例があれば教えてください

【回答】生活のこと、学校のこと、ゴミ処理、水道、講演、施設の修理など全てを行っています。体育館のエア コンなどもありました

【質疑】市議会議員の中から国会議員になった人は何人いますか

【回答】1人です。昨年の衆議院選で当選されました

【質疑】市の予算はいくらですか

【回答】令和6年度の予算は、一般会計765億円、特別会計764億円、企業会計447億円で総額1977億円です

【質疑】やりがいは何ですか

【回答】小田原が豊かになり、市民の笑顔が見られたときです

【質疑】議長が男性しかいないのはなぜですか

【回答】今までは男性が多く議員になってきたのですが、最近は女性議員も増えてきています。そのうち女性議 長が誕生するかもしれません

【質疑】一番大変な議会は何でしたか

【回答】全ての議会が甲乙つけがたく、比べようがないです

【質疑】発言時間の制限はありますか

【回答】本会議での一般質問では発言時間が 40 分と決められている。委員会等では制限がないが、良識を持った範囲で発言している

【質疑】議員として何年くらい働いていますか

【回答】私は4期目となります。14年たちます

【質疑】議員になって大変なことは何ですか

【回答】大変なことは色々ありますが、自分が議員になって一番大変だなと感じることは、何か一つのことを決めるときです。住民の意見が二つに割れてしまい、自分もどちらかに決めなければならないときに本当に悩んでしまったりすることがあります。

でも、一番は市民にとって、どうしたら幸せになるのか、どうしたら安心安全に暮らせるのかということを心の奥に置いて、いつも判断をするときに考えています

【質疑】議員になるためにはどうしたらよいのですか

【回答】市のためにこうしていきたいという問題意識がある人が、一つの選択として議員になっていくと思います

【質疑】どのような条約がありますか

【回答】条約は国と国が結ぶものでが、市では条例があり、最近では地域経済好循環推進条例を制定しました

【質疑】議会に向けた準備はどのくらいかかりますか

【回答】議員になってまだ2年なので、議会に向けてかけられるだけ時間をかけています